

第87回 すこやかネットワーク 医療関係者向

日時: 5月15日(水) 19:00~20:00
 場所: 松波総合病院 3階講堂
 テーマ: 『在宅における閉塞性動脈硬化症のフットケア』
 講師: 松波総合病院
 心臓血管外科部長・集中治療センター副センター長・救急医療センター副センター長 野垣 晴彦先生

松波総合病院 協力講座 『シリーズ“健康”転ばぬ先の杖』第1弾

日時: 5月16日(木) 13:30~15:00
 場所: NHK文化センター岐阜教室
 〒500-8856 岐阜県岐阜市橋本町1-10-1 アクティブG 3階
 【JR東海道本線岐阜駅直結】

テーマ: 『脳卒中に負けないコツ』
 講師: 松波総合病院
 脳神経外科部長 兼 脳卒中部門長 兼 輸血部長 澤田 元史

受講料(全5回)
 会員: 9,450円
 一般: 10,500円
 ※1回のみ受講
 会員一般共: 2,415円
 ◎会員とはNHK文化センター会員のことです。

お申込み・お問い合わせ: NHK文化センター岐阜教室
 TEL: 058-264-6311

営業時間: 平日・土曜 9:30~19:00
 第2・4日曜 9:30~16:00

かかりつけ医院のご紹介

羽島市 竹鼻町の あさこう眼科クリニック

眼科

休診日: 木・日曜日、祝日
 〒501-6244 岐阜県羽島市竹鼻町丸の内1-8
 ☎ 058-391-1103
 FAX 058-391-1102

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|--------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前9:00~12:00 | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | — |
| 午後3:30~6:30 | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | — |

—: 休診

院長: 浅野 英二郎

眼科一般疾患からレーザーによる治療や日帰り白内障術にいたるまで、幅広い眼科疾患に対応しています。来院された方が気軽に何でも聞けるような空間であることを大切に診療しています。よろしくお願い致します。

羽島市 小瀬町の さの内科クリニック

循環器内科 呼吸器内科
 せき外来 禁煙外来
 糖尿病内科 小児科

休診日: 水・日曜日、祝日
 〒501-6264 岐阜県羽島市小瀬町島2-12
 ☎ 058-391-8802
 FAX 058-391-8810

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|--------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前8:30~12:00 | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ● | — |
| 午後3:30~6:30 | ○ | ○ | — | ○ | ○ | — | — |

●は午前8:30~12:30 —: 休診

院長: 佐野 祐次

循環器、呼吸器、糖尿病の専門医療を提供します。『せき外来』を開設しています。長引く咳でお困りの際は、ご相談ください。『禁煙外来』では、120人以上の実績があります。日本禁煙学会認定指導医です。

患者さまと 病院をつなぐ かけはし No.163 MATSUNAMI

まつなみ

2013 5

発行 社会医療法人藤西厚生会 松波総合病院

先生からのおはなし CLINICAL TALK 総合内科のご紹介



総合内科では、問診や触診、聴診といった基本的な診療を大切にしています。

最善の治療方針を探り当てる。

患者さんと向き合い、

松波総合病院 副院長・総合内科部長・地域医療介護連携センターセンター長
村山 正憲

日本内科学会指導医、総合内科専門医認定内科医、日本内分泌学会指導医・専門医。内科全科に対する高い専門性を発揮しながら患者さんのプライマリ・ケア(初期治療)を担うと同時に、後進の育成にも力を注いでいる。

具体的な疾患を絞り込んでいきます。必要な検査があればその日のうちに行い、診断が確定した上で、初期診療で対応が可能な患者さんの場合には、総合内科で診察を完了します。一方、専門診療科での精密検査・治療が必要な場合には、その治療に精通している専門科と連携しながら、患者さんに適切な医療を受けていただけるよう診療を行っています。

■そもそも総合内科とは?

心臓なら循環器内科、肺なら呼吸器内科というように、近年は内科も専門別に細分化され、誰もが高度な医療を受けられるようになりました。その一方で、ひとつの診療科ではその専門の臓器の問題しか扱わないといった傾向が強まり、患者さんも、どの科で診察を受けたらよいのかわからないということが起こってきました。特に高齢の方の多くは、糖尿病も高血圧も心臓病も、というように、ひとりで複数の病気を抱えておられます。そういう患者さんが抱えているすべての病気や悩みに目を配り、全身をバランスよく診察しながら、患者さん一人ひとりに合った医療を提供するのが総合内科の役割です。言ってみれば、総合内科医は、一人の患者さんの病気を総合管理する「主治医」としての機能を果たしています。

■「どの科で診てもらっていいのかわからない」そんな時は総合内科医にご相談ください。

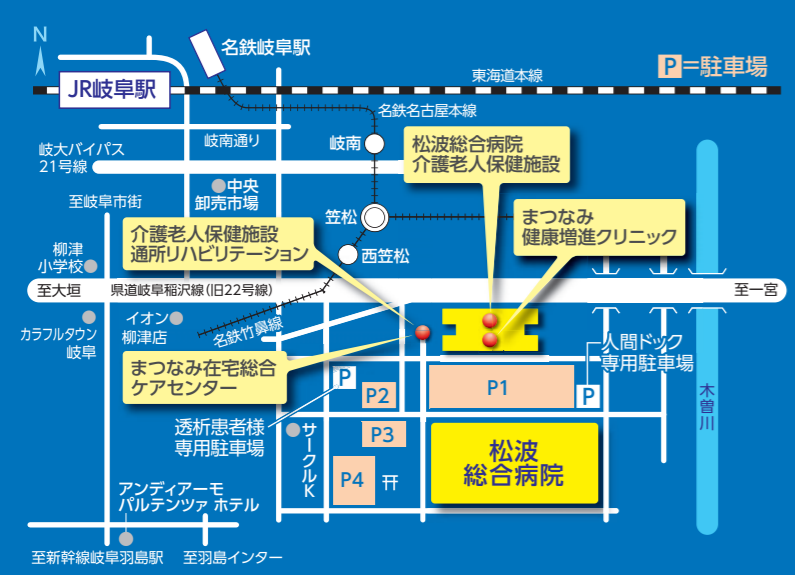
私自身は、もともとは内分泌代謝領域の大学医局に入局していました。人間の身体は統一された有機体ですので、身体を部分でみるよりは全身で理解する方に興味があったからです。その後、県立岐阜病院へ赴任し、そこで総合内科医として診療領域を広げ、現在に至ります。総合内科にはさまざまな患者さんが受診されます。ときには問題点が色々な臓器にまたがって、診断が難しい患者さんもおられます。人間の体をひとつのつながりあるものとして捉え、体の不調の原因を突き止めようとする中で、問題解決の糸口が見出せた時、また、原因不明の症状から思いもよらない病気を発見した時などは、医師として、科学者として、この上ない喜びを感じます。

■患者さんの症状に耳を傾け、全身を診ることで病気を絞り込む。

診療にあたっては、まずは患者さんの話をしっかり聞かせていただき、聴診や触診などの「身体診察」をていねいに行うことで、病気を絞り込んでいきます。たとえば、胸が痛いと言えられる患者さんには、どういう痛みか、どういう時間帯に起こるのか、どういうきっかけで起こるのか、複数の症状の組み合わせがあるのかなどを聞き、それらの情報を分析して、

- ・最近、どうも体の調子がよくないけど、何科に行ってもいいかわからない
- ・ずっと微熱が続いているけど、原因がわからない

このように、健康に対して悩みや不安を抱えている方は、ぜひ総合内科の門をたたいてください。



遠方よりお越しの方

新幹線岐阜羽島駅 西笠松駅 松波総合病院
 名鉄電車竹鼻線25分 徒歩10分
 タクシー20分

名鉄岐阜駅 西笠松駅 松波総合病院
 名鉄電車羽島行10分 徒歩10分
 タクシー15分

名鉄名古屋駅 笠松駅 松波総合病院
 名鉄電車急行25分 徒歩15分
 タクシー5分

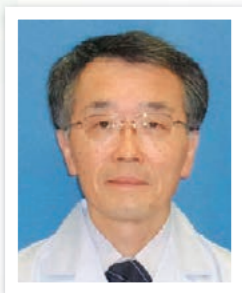
お気軽にお問い合わせください。
 ☎ 058-388-0111
 http://www.matsunami-hsp.or.jp/

当院は、病院内・敷地内全面禁煙です。皆様方のご理解とご協力をお願いします。

社会医療法人藤西厚生会 松波総合病院 〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

新しく当院に赴任した 11名の医師をご紹介します。

この4月から松波総合病院に新たに11名の医師が仲間入りしました。地域医療を担う一員として、皆さんのお役に立ちたいと願っています。それぞれの持てる力を存分に発揮し、患者さんの希望に添った質の高い医療を提供できるよう精一杯がんばりますので、よろしくお願いいたします。



診療局 医療管理監視役
日置 敦巳

地域の皆さんの健康をまもる公衆衛生の分野からきました。これまでの経験を活かし、松波総合病院がさらに皆さんの安心の拠点となるよう努めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



小児科 部長
澤路 陽一

専門は小児循環器です。先天性疾患の診断と重症度の判定、特に胎児心エコー診断で、重篤な疾患を出生前に発見して、安全なお産と安全な新生児の管理、川崎病の急性期の治療とその後のフォロー。このような事でお役に立てれば幸いです。よろしくお願いいたします。



血液内科 医員
徳山 清信

4月より血液内科に着任しました徳山と申します。これまでの経験を生かして血液疾患を始め内科一般の診療に取り組んでいきたいと思っております。皆さん、よろしくお願いいたします。



総合内科 医員
栗本 美緒

初期臨床研修を終え、この春から総合内科医として出発した3年目の医師です。医師は、その地域の患者さんとその患者さんを支える全ての人によって育てられているのだという事を忘れず、一生懸命精進してまいります。



内科 医員
倉橋 眞理

高校2年生のとき、「自分のなるべき仕事は医者だ」とある日突然ひらめいてから紆余曲折を経て38年後、医師になりました。趣味はドライブ、小説を書くこと、料理(特につまみ料理)です。



麻酔科 医員
佐藤 玲子

周術期の患者さんの安全を守るため最善の準備をしています。術後の痛みを取るだけでなく、手術を前にした不安を少しでも軽減できればと思います。術前の面談でも気軽にお尋ねください。

研修医



ながわ たつあき
長縄 達明



やまが ゆうすけ
山家 佑介



もりもと しょうた
森本 翔太



かとう たつお
加藤 達雄



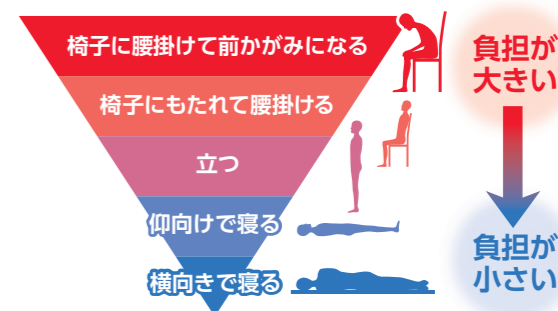
たぐち あきひさ
田口 聡久

理学療法編 リハビリ 知識

姿勢に気をつけて 腰痛を予防しましょう。

腰痛の原因は、運動不足による筋力低下や、普段の姿勢の悪さ、内臓の病気、ストレスなどさまざまです。これらにより、靭帯や軟部組織が損傷されたり、血流が悪くなったり、神経が圧迫されたりすることで痛みを感じます。これらはほんの一部であり、腰痛の原因も、痛みの種類も複雑です。腰痛になった場合、痛みがある程度治まるまでは安静にし、医師による診断、治療を受ける必要があります。また、腰痛の再発予防のために、運動や日ごろの姿勢を見直すことが大切です。

■ 腰に負担のかかる姿勢(負担の大きい順) ……………



■ 腰に負担をかけない姿勢 ……………

- 物を持ち上げるときは、持ち上げるものに体を近づけて、膝を曲げてしゃがんでから持ち上げましょう。膝を伸ばして、腕だけで持ち上げようとすると腰に負担がかかります。
- 中腰になる、前かがみになるときは、膝立ちになるか膝を軽く曲げて行いましょう。
- 荷物を運ぶときは、荷物を体になるべく近づけて運ぶようにしましょう。

長谷川薬剤師の くすりのお話

発見から90年を迎えたインスリン

糖尿病の注射薬といえば、インスリンを思い浮かべることでしょう。インスリンの発見はカナダの医師バンティングによるもので、1921年まで遡ります。今回はインスリンの発見がもたらしたものと、医薬品としてのインスリンの特徴を簡単に紹介します。インスリンは発見翌年の1922年に、早くもヒトの糖尿病治療に使われました。インスリン発見前は、重症糖尿病(現在の1型糖尿病)患者が発症後3年以上生存できるのは

まれであったと言われていました。ところが1920年代のアメリカでは、15歳の1型糖尿病の少女にインスリンによる治療が開始された結果、なんと73歳まで生存し、結婚や出産も含めた社会生活が可能になったというお話が残っています。インスリンが発見され医薬品としてヒトに使用されるようになって90年が経ちました。インスリンはほぼ確実に血糖値を下げる効果が現れます。さらに医薬品として長年使用されてきたことにより、効果も確かめられていますし、今後未知なる副作用が出現する可能性も低いと言えるでしょう。現在では科学が進歩し、さまざまな種類のインスリンや、自己注射のための注入器が発売されています。インスリンは多くの使用経験に支えられ、歴史ある医薬品として、今日も多くの患者さまに使われ続けています。ちなみに、インスリンを発見したバンティングの誕生日の11月14日は、「世界糖尿病デー」となっています。

まつなみ information

体に負担のかからない血管検査室「バスキュラー・ラボ」

生活習慣病(糖尿病、高血圧症など)や高齢透析患者さまは全身性動脈硬化症になることが多いと言われています。これらの方々には定期的に無侵襲的な超音波検査等を行うことが予防、早期発見につながります。バスキュラー・ラボとは脈管疾患に関連する検査機器を集めて、その診療に合わせた検査や診断を行う検査部門のことで、頸動脈や下肢の血管超音波検査をはじめ、トレッドミルによる歩行検査、足関節上腕血圧比(ABI)、脈波伝播速度(PWV)、経皮酸素分圧の測定など、患者さまのお体に負担をかけない方法による検査や測定を行い、動脈硬化の度合いを検査します。当院ではABI・PWV検査機器2台、心臓・頸動脈検査用超音波機器2台、皮膚灌流圧(spp)測定装置、トレッドミル検査装置等をそろえ、これらの検査を行っていますので、ご心配の方はかかりつけの先生とご相談ください。

